あおばっ子　特別号

学校教育目標　夢に向かって　ともに伸びる　青葉の子
重点目標　大切にしよう～自分・仲間・言葉～



令和８年 10 月 30 日
富士市立青葉台小学校
学　校　だ　よ　り

全国学力・学習状況調査

６年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の本校の調査結果及び考察について報告いたします。今回の分析を踏まえて、よりよい学習指導ができるよう、授業改善に努めてまいります。また、学力の向上において、子供たちの学習習慣や生活習慣は大きく関連しておりますので、ご家庭と学校とが一体となって取り組んでいくことができるよう、今後もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校の調査結果及び考察

１．国語科

○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力が全国値よりも高い傾向にあります。

(1) 岡野さんたちのグループは、**【動画の一部】**をくふうしてさつえいしました。そのくふうとして適切なものを、次の**1**から**5**までの中から**二つ**選んで、その番号を書きましょう。

1　草花で遊べる場所への行き方を映像で示すことで、草花遊びへの関心を高めている。

2　くき笛の実際の音を示すことで、言葉の説明だけでは分かりにくい内容が伝わるようにしている。

3　くき笛を作る映像に文字の説明を加えて示すことで、遊び方の手順が伝わるようにしている。

4　くきの長さを映像で比べて示すことで、くき笛にしやすいたんぽぽを見分けやすくしている。

5　手元や口元を大きく映して映像で示すことで、くき笛の遊び方が伝わるようにしている。

二　岡野さんたちのグループは、**【構成メモ】**をもとに、「**中①**」を次の**【動画の一部】**のようにさつえいしました。これをよく読んで、あとの(1)から(3)の問いに答えましょう。

【動画の一部】

〈映像〉	〈音声〉
	岡野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	岡野　「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー♪（くき笛の音）』 岡野　「これは何の音だと思いますか。」
	水谷　「これはたんぽぽで作ったくき笛の音です。」 岡野　「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷　「くき笛は、たんぽぽの花の部分を取りのぞいて」
	水谷　「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷　「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむと」 『ピー♪（くき笛の音）』 水谷　「このように音を出すことができます。」
	水谷　「くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」 『ピー♪（くき笛の音）』『ポー♪（くき笛の音）』
	岡野　「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

考察

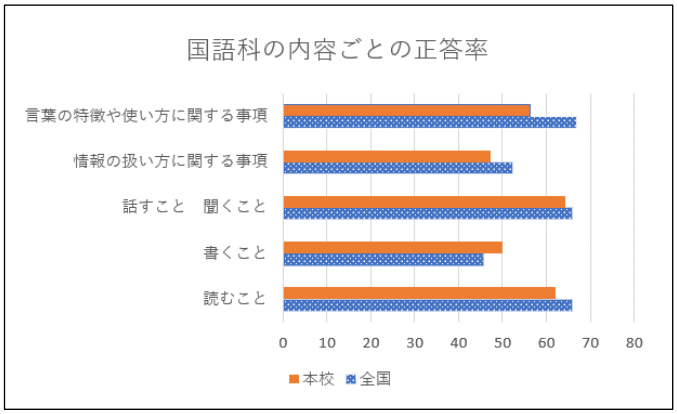
※正答率　**本校　61.3%**　全国　60.2%

本校では、どの教科の学習においても、根拠となる資料や今まで学習してきたことを基に、自分の考えを他者（仲間や読み手）に伝わるよう、ノートやクラウドアプリ、リーフレット等に書き表す活動を大切にしています。また、特に国語科では、仲間と互いに表現したものを見合う中で、自分の表現を見直したり、仲間の表現のよさを取り入れたりする活動も大切にしています。

子供たちが大人になって仕事に就くと、資料を作成する場面が多くあります。自分が伝えたいことをより効果的に相手に伝えられるよう、これからも力を伸ばしてほしいと思います。

〈本校の課題〉

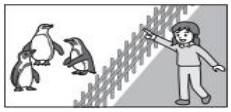
課題として、目的に応じて、文章と図表などを結び付けながら必要な情報を見つけることが挙げられます。国語科の説明的な文章において、構成を捉え、筆者が何をどのように伝えているのか情報と情報をつなげ、正確に読み取ることが求められます。授業においては、教科書と図表等を結び付けながら、事象を捉えたり、考察したりできるようにしていきます。



2．算数科

○「単位量当たりの大きさ」の理解が全国値よりも高い傾向にあります。

(3) AとBの２つのペンギンの広場があります。
下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数（羽）	面積（m²）
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

A　10 ÷ 20 ＝ 0.5
B　12 ÷ 30 ＝ 0.4

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。
下の**ア**と**イ**、**ウ**と**エ**の中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は［ア　1 m² あたりのペンギンの数 / イ　1 羽あたりの面積］を求めています。
商を比べると［ウ　商が大きいAの広場 / エ　商が小さいBの広場］の方がこんでいることがわかります。

※正答率　本校　40.0％
全国　36.1％

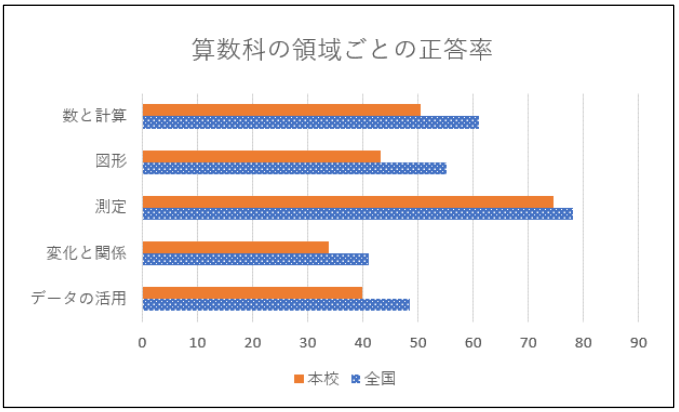
考察

「単位量当たりの大きさ」や「割合」は、多くの子が算数の学習で難しいと感じる分野になります。そのため、授業の中では、「４マス関係表」や「数直線図」のかき方、使い方を確認し、それらを用いて関係を捉え、立式する学習を丁寧に行ってきました。

また、本校の算数科の学習においては、考えの証拠（言葉・図・表・絵・グラフ・式・操作等）を残すことを大切にしています。このことは、中学校から始まる数学の学習の支えにもなると考えています。

〈本校の課題〉

課題として、分数の意味理解がやや不足していることが挙げられます。２年生から始まる分数の学習において、分母や分子、表されている分数がどのような数なのか、何を表しているのかを図や数直線と関連付けながら理解できるように子供を支えていきます。また、算数科の学習で大切な課題を発展する力や、違う見方ができないか分析する力も高めていけるように、授業を構想していきます。



3．学習状況調査（児童生徒質問紙）から

〈自分のこと〉

○学校に行くのは楽しいと思いますか？「当てはまる」本校　58.9%　全国　48.0%
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」本校　86.3%
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか？
「よくある」本校　64.4%　全国　54.7%
「よくある」「ときどきある」本校　89.1%
●人の役に立つ人間になりたいと思いますか？
「当てはまる」本校　58.9%　全国　70.8%
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」本校　94.5%

〈学習のこと〔　※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した数値です。

○国語の勉強は好きですか？　本校　79.5%　全国　57.4%
○５年生までにうけた国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか？　本校　90.4%　全国　80.7%
○算数の勉強は好きですか？　本校　71.3%　全国　57.6%
○５年生までに受けた算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか？　本校　82.6%　全国　63.0%
○英語の勉強は好きですか？　本校　82.2%　全国　66.7%

生活面では、多くの子が「楽しい」、「幸せ」を感じながら生活できていることが分かり、うれしく思います。しかし、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか？」という項目において、「当てはまる」と回答した割合が全国値よりも低い傾向にあるのも現状です。一人一人のよさや可能性、持ち味を生かし、様々なことにチャレンジしていけるよう、子供のよさや頑張りを認め、その子に合った支援をしていきたいと思います。

学習面では、「国語、算数、英語が好きですか？」という質問項目で、全ての教科において、全国値を大きく上回る結果となりました。2030 年度から始まる新しい学習指導要領には、「好きを育み、得意を伸ばす」教育を進めていくことが示されており、「好きこそものの上手なれ」ということわざもあります。これからも学ぶことが「好き」「楽しい」と子供が感じられるよう、子供の思いや問いを大切にしながら各教科の学習を構想し、子供と共に学びを進めていきたいと思います。

昨年度と本年度、本校は、静岡県の研究指定「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」に向けて研究を進めています。全ての子が、現在も未来も幸せになれるよう、これからも研鑽していきます。

全国学力・学習状況調査とは…

全国学力・学習状況調査は、小学６年生と中学３年生を対象に行われています。文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。

この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、「知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるもの」という新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。